



佐世保市立大野中学校

所在地：佐世保市松瀬町 838 番地

校長名：埋ノ江 章

生徒数：667 名（21 学級）

校訓：「至誠をもって生涯を貫こう」

1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

本校は、これまで生徒の心の教育や道徳実践力の育成を図るため、各教科や日々の教育活動の充実、教育環境の整備を行ってきた。今年度も「大きな志と真心を持ち のびる生徒の育成」の学校教育目標のもと、次の視点で特色ある学校づくりを進めた。

- (1) のびる知性
- (2) のびる徳性
- (3) のびる体力・自信
- (4) 開かれた学校づくり



2 実践内容

(1) のびる知性

①授業改善研究

本校では平成24・25年度に「授業改善」についての研究を行った。その際に確立した「大野中学びのスタイル」を、本年度も継続して実践し、生徒の学力の向上に努めた。特に「めあての提示をして見通しをもった授業を展開する」ことや、「掲示教育等の授業環境」に工夫を行うことで「学びの空間」として、生徒の思考力、判断力、表現力の育成に努めている。

②人権・平和学習

本校では、過去に痛ましい事件が起き、そのことを教訓として「いのちを考え、大切にする」ために「あすなるタイム」を設定し学習を行っている。

6月30日(木)の平和集会では、講師として長崎市で原爆を体験された 山川 剛 氏を招聘し、原爆のことだけではなく、戦争のころの子どもたちや人々の暮らしの様子や平和な世界を作るために何が大切かなどのお話をしていただき、子どもたちに、平和の尊さを訴えていただいた。



8月9日(火)の平和集会では、第十七代高校生平和大使 猪本 悠稀 さんを招聘し、高校生平和大使としての経験をもとにお話をしていただいた。「若い我々から世界を変えることができる」とのメッセージをいただき、

全校で平和の大切さについて改めて考えた。

12月には、数回にわたり人権学習を行い、自分の行動と照らし合わせて考え、各学級ごとに人権宣言を行い、いじめは絶対にしない、という強い意思を互いに高めあった。

(2) のびる徳性

①校外における体験活動の充実

第2学年：職場体験学習

本年度は、2学年で職場体験学習を9月13日(火)から15日(木)の3日間実施した。60カ所の地域の事業所において、厳しくも優しい指導をいただいた。実際に仕事を体験し、働くことの厳しさや喜びなどを身をもって体験した。

社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付けることができる場であり、職業や勤労に対して関心を持ち、望ましい職業観を身に付けるとともに、将来の生き方、あり方を模索するきっかけとなった。

また、実際に働いている人たちの生活ぶりを見聞きする絶好の機会になった。その後のレポート作成においても、進路意識の向上や、望ましい人間関係の確立に対して、成長の跡が見られた。



第2学年：保育実習

2年生で家庭科の授業の一環として、保育実習を実施し、校区内の保育園において幼児と触れ合う体験活動を行った。事前学習として、幼児期の特性を知り、園児との触れ合いから思いやりのあるあたたかい心を育てることを目的とし、実習を行った。生徒たちも実習を楽しみにして、おとなしい生徒も園児とコミュニケーションと取りながら、楽しく園児のお世話に取り組むことができた。多感な時期に幼く純粋な園児との触れ合いは、生徒にとって貴重な体験となった。

②人権講演会

1月23日(月)に行った人権学習講演会では、福岡県在住の「子どもの学び館代表取締役」教育・子育て、人権問題の講演家 福永 宅司 先生をお招きし、多様な視点から子育てや教育問題にメッセージをいただき人権学習の取組を深めることができた。

今後も人権の意義やその重要性についての正しい知識を十分に身に付けさせると共に、日常生活の中で人権上問題のあるような出来事に接した際に、その出来事はおかしいと思う感性や、日常生活において人権に対する態度や思いやりのある行動に現れるような人権感覚を身に付けさせたい。



(3) のびる体力と自信

①体力の向上

本校の体育大会は、例年盛り上がる体育大会として保護者に好評で、今年度も1,200名を超える応援のもと、積極的な活動を見せた。特に男子の組体操、女子のダンスに地域・保護者の盛り上がりは最高潮に達した。

佐世保市中学校体育大会では、堂々とした行進に、選手・応援の生徒の心が一つになり、大会を盛り上げた。体操男子、ハンドボール男女が団体優勝を果たした。また、県中総体でも活躍し、体操女子個人、体操男子団体、ハンドボール男女が優勝し、九州大会に出場した。また、体操男女個人で全国大会に出場した。



②健康教育の充実

歯科保健の充実

健康教育の充実として、歯科保健の充実を図った。11月17日(木)に、1年生を対象として本校養護教諭から歯科保健についての講話を実施した。8020運動についての説明や健康診断の結果から口の中の健康状態の説明を行った。また、フッ化物洗口についての正しい理解やブラッシングについても話をした。生徒にとって歯の大切さや口の中の病気の怖さが理解できた有意義な講話となった。



薬物乱用防止教室の充実

12月15日(木)に3年生を対象に、薬物乱用防止教室を実施した。本校学校薬剤師 古川 真理 先生を講師として招き、薬物の恐ろしさ及び危険ドラッグなど最新の動向を教えていただき、薬物乱用から身を守るための方法等々、薬物乱用防止についてご指導いただき、薬物の恐ろしさを正しく学習することができた。

③生徒会活動の充実

基本的な生活習慣の育成と定着を図るため、生徒会の活動として「あいさつ運動」を担当学年・学級を決めて毎日行っている。生徒の自治的活動を意図した生徒会活動や部活動を通して、過ごしやすい学校づくりと逞しい体づくりに努め、活力ある学校づくりを図った。

(4) 開かれた学校づくり

①スマホに係る大野中家庭教育宣言（PTAとの関わり）

現代社会において、携帯・スマートフォンの普及は中学生に影響を与えており、何らかの基準を作る必要性がある。そこで、昨年に引き続きPTAと連携し、「スマホに係る大野中家庭教育宣言」をPTA総会で改めて決議していただいた。家庭における約束事に一定の基準を設けたことで、生徒の安全が保たれつつある。

また、SNSに関して、生徒・保護者に意識付けを行うことを目的として、メディア講演会を2月21日(火)に全校の生徒・保護者を対象に実施した。県メディア安全指導員 内田 奈美 先生に「ネットトラブルにまきこまれないために」というテーマで講演していただき、生徒にわかりやすい例えを用いながらその便利さと危険性を伝えていただいた。

②学校カレンダー

大野中学校「学校カレンダー」を作成し、全家庭に配布すると共に健全育成会をはじめとする地域の関係団体の会員の皆様にも配布することで、学校の行事の見通しと学校に対する理解を深める資料として役に立った。

③地域行事への積極的な参加

健全育成会主催の地域まるごと史跡めぐりには、小中学生含めて100名ほど参加し、自分が住んでいる校区の歴史と文化に対する思いを新たにするとともに、参加した保護者や地域の方々とのつながりを深め、顔見知りになるような地域環境作りを行うことができた。

④PTA、おやじの会との連携

本校のPTA・おやじの会の活動は活発であり、子どもたちのために、日々何ができるかを追求し、活動をしていただいている。

11月3日(木)に長距離歩行大会を実施した。生徒約130名、保護者約40名が参加し、午前9時に学校を出発し、約2.2キロを全員が完歩した。PTA・おやじの会の手厚い支援のもと盛況のうちに終了し、子どもたちの体力の増進と、心の成長を促すことができた。

